

令和7年度佐賀県立図書館 運営方針(案)

佐賀県立図書館は、県の中核図書館としての役割を果たし、県民が生涯にわたり学び続けていく「知の拠点」として、誰もが利用しやすい魅力ある施設を目指している。

このため、県内市町図書館等支援・連携の強化や県読書バリアフリー推進計画に基づくサービス提供の推進など、次の6つの方針を掲げて事業に取り組む。

1. 県内市町立図書館等に対する支援及び連携の強化

- ①県内図書館の司書等のスキルアップのための人材育成事業の推進【再掲2③】
- ②市町立図書館司書等を対象としたテーマ別研究会の開催
- ③「司書のつどい」の開催による図書館間のネットワーク形成の促進と連携強化
- ④リーダー司書等県立図書館職員による市町立図書館等に対する巡回訪問による支援
- ⑤市町立図書館等と大学図書館間の物流システム（相互貸借）の活用
- ⑥新刊児童書の一括貸出による市町立図書館の選書や司書研修での利活用【再掲3⑤】
- ⑦児童書等を活用した市町立図書館、学校等に対する支援【再掲3④】
- ⑧市町郷土資料の整理・保存への支援推進【再掲4④】

2. 資料の収集・整理・保存・利用者への提供の充実

- ①中核的図書館として必要な資料、地域の歴史・文化・産業等に関する郷土資料等の収集・整理・保存・利用者への提供
- ②レファレンスサービス等利用者サービス提供の充実
- ③県内図書館の司書等のスキルアップのための人材育成事業の推進【再掲1①】
- ④児童図書の全点購入【再掲3①】
- ⑤電子（デジタル）図書の拡充と利用促進
- ⑥図書館業務のDX化の研究（利用者の利便性向上及び職員の作業効率化）

3. 児童図書の全点購入・利活用推進

- ①児童図書の全点購入【再掲2④】
- ②新刊児童書を活用した児童図書情報収集・発信
- ③子どもの読書支援サービス強化及びイベント活用による普及促進
- ④児童書等を活用した市町立図書館、学校等に対する支援【再掲1⑦】
- ⑤新刊児童書の一括貸出による市町立図書館の選書や司書研修での利活用【再掲1⑤】

4. 郷土資料の利活用推進

- ①郷土資料のデジタル化公開の推進
- ②貴重な郷土資料の保存、近世資料の編さん及び公開活用の推進
- ③東京大学等関係機関との連携・共同研究の推進
- ④市町郷土資料の整理・保存への支援推進【再掲1⑧】
- ⑤県内外にある郷土資料の調査、収集、保存、活用
- ⑥郷土資料を活用した展示等の実施

5. 豊富なコレクションを活用した資料情報の発信強化

- ①タイムリーなテーマ展示等による情報発信
- ②県の施策や事業、その他関係機関との連携の推進
- ③ソーシャルメディアを含めた複合的で効果的な情報発信

6. 県読書バリアフリー推進計画に基づくサービス提供の推進

- ①「みんなの森」等におけるサービス提供と情報発信
- ②関係機関との連携によるサービス提供と情報発信
- ③バリアフリー関連図書の充実と利用促進

令和7年度 図書館予算の概要

事 項 名	予算額 (千円)	主 な 事 業 概 要
1 図書館管理運営費	36,733	(1)本館、書庫の運営、維持管理・点検等 (2)会議・研修・講習会参加 (3)好生館分室運営
2 電算システム維持管理費	25,349	(1)図書館システムの維持管理 (2)利用者接続用インターネット環境維持管理
3 図書館地区別研修会開催費 (九州地区)	502	(1)図書館法第7条の規定に基づき文部科学省の委託を受けて図書館地区別研修会を開催
4 日本図書館協会等負担金	91	(1)日本図書館協会負担金 (2)全国公共図書館協議会負担金 (3)佐賀県公共図書館協議会負担金
5 図書館協議会開催費	94	(1)図書館協議会開催
6 図書資料整備費	43,414	(1)図書(館内・館外・郷土資料用)購入 (2)電子図書の利用 (3)逐次刊行物・視聴覚資料購入 (4)図書の整理・製本
7 郷土資料の整備調査費	606	(1)郷土資料の調査・収集・保存・公開 (2)古文書講座開催
8 図書館デジタルライブラリ事業費	2,057	(1)佐賀県立図書館データベースの維持管理・運用
9 読書推進費	175	(1)読書推進活動
10 佐賀県近世資料編さん事業費	6,704	(1)第7編第1巻「産業藩」刊行・印刷 (2)調査収集 (3)編さん委員会開催
11 館内事務費	6,985	(1)県内図書館等とのネットワークの充実、連携促進 (2)子育て世代を対象とした情報発信 (3)閲覧貸出、相互貸借、利用者サービス用事務
12 郷土資料利活用推進費	2,081	(1)歴史資料のデジタル化・公開 (2)佐賀県歴史資料総合調査事業 (3)東京大学等との共同研究事業
13 図書館の機能充実推進事業費	1,749	(まなび課全体予算額4,863千円うち図書館執行額1,749千円) (1)レファレンス機能充実のためのデータベース利用 (2)公共図書館職員、司書職員の研修
14 新刊児童書全点購入等利活用事業費	5,821	(1)新刊児童書全点購入 (2)「こころざしの森」の運営
15 チーム司書ネットワーク等推進事業費 (特定政策推進費)	9,846	(1)児童書等の利活用・広報活動 (2)チーム司書ネットワークの運営 (3)テーマ別研究会の運営
16 子どものこころざしスポット推進事業費	700	(まなび課全体予算額3,605千円うち図書館執行額700千円) (1)子どものこころざしスポット充実
合計	142,907	対前年比100.1% (前年度予算額 142,833)

(※司書等(会計年度任用職員)の人件費は含まない。)

【関連予算】

事 項 名	予算額 (千円)	事 業 概 要
1 長期保全整備事業費 (図書館) (FM関係)	263,874	・外壁改修工事・電気設備改修工事、 ・小荷物昇降機(本館・新館書庫)更新 ・給排水設備工事
合計	263,874	

(※まなび課予算。執行は、建築住宅課施設整備室へ依頼予定。
小荷物昇降機(本館・新館書庫)更新は、図書館にて執行。)

令和7年度 外壁改修工事及びその他工事

1. 外壁改修工事

【事業目的】

利用者の安全性確保のため、外壁の改修工事を行う。

【事業実績・計画】

- ・令和4年度：調査、応急対策（外壁材落下防止ネット設置）
- ・令和5年度：設計
- ・令和6年度～令和7年度：工事实施中（令和6年11月工事開始）

① これまでの経緯

開館から60年を経過し、外壁やバルコニーの外部手摺等は劣化が進んでおり、令和4年度に外壁の現況調査を実施した。外壁現況調査の中で、外壁及び天井の多くの部分でモルタルの浮きが進んでおり、モルタルが剥がれ落ちる可能性があることが確認された。なお、利用者が通行する箇所については、応急対応として令和4年度に外壁材落下防止ネットを設置済み。県民が日々利用する施設であり、安全性の確保が必要であることから、令和6年度から7年度にかけて計画的に改修工事を実施中である。

② 工期

令和6年11月～令和7年8月中旬



【図書館西側】外壁工事中



【図書館南側】外壁工事中

2. その他工事

◎電気設備改修工事

施設改修に伴う回線不足や、電気設備の老朽化による漏電等のリスクがあることから、計画的に改修工事を実施する。工事は、電気設備全般（照明、コンセント、電話、受変電設備、分電盤等）の改修予定。

【事業計画】

令和6年度 設計

令和7年10月～8年 工事（予定）

◎小荷物昇降機（本館・新館書庫）更新

当該昇降機は、図書の運搬に必要不可欠なものであり、機能維持のため、長期保全計画に基づく改修を行う。

【事業計画】

令和7年度 更新工事

◎給排水設備工事

図書館の給排水設備は法定耐用年数の15～20年を上回り老朽化が進んでいる。随時、法定点検・清掃を実施しているが、水槽内の付着物（錆等）の沈殿による衛生面での懸念がある。工事は、受水槽・高架水槽及び配管一式の改修予定。

【事業計画】

令和7年度 設計

令和8年度～9年度 工事（予定）